

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	布施 祥伍	学校名	習志野市立第二中学校
実施学年	中学校2年	教科	数学
单元名	連立方程式		

《学びを深めたいポイント》

- ・この授業では、今までに学んできた連立方程式の利用について、文章題を解く手順(①問題の中から数量の関係を見つける・②まだわかっていない数量のうち適当なものを文字で表し方程式を作る・③方程式を解く・④方程式の解があるかを確認する)がどのような問題でも活用できること、情報を線分図や表・言葉の式等を使って整理すれば解きやすくなることに気づけることが重要であると考えます。また、自分で考えた文章題が実際に解くことができるかの確認や模範解答・解説の作成を行うことで学びが深められ、表現力の向上に繋がれることができると考えます。
- ・連立方程式を具体的な場面で活用していくことにイメージがわからないことや出された文章題を解くのに困難を感じる生徒が出ることが懸念される。導入の例問題でどのような流れで考えていくのか、解いていくのかを理解することができるように支援することが重要になる。
- ・これらの活動を通して、連立方程式を具体的な場面で活用できるようにし、どのような問題が出ても柔軟に対応することができる生徒を目指していきたい。

《SKYMENU 活用のポイント》

- ・一斉指導の場面では配付する「発表ノート」の資料について説明をする。問題や模範解答を作る際には、入力が困難を感じる生徒がいることも考えられるため、手書きでも良いことを伝え、個別学習に繋げていく。やりやすいやり方で取り組ませることでより効率的に課題解決に向かうことができる。
- ・個別指導では、配付された「発表ノート」に例が載っているため、参考にしていきながら作成に取り組みせていく。やっているなかで各生徒のノートモニターを使って全体共有することで、苦手な生徒も模倣していきながら取り組ませるようにしていく。タブレット端末を用いることで様々な考えに発表しなくても触れることができるメリットが生じる。
- ・班活動では、「発表ノート」のグループワーク機能を用いることで、問題の共有を簡単に行うことができ、取り組める問題数を増やすことにもつながられる。
- ・「気づきメモ」をまとめて使うことで、次時の際にどのようなことを学んだか、気づいたかについて振り返りをしてから学習におかうことができる。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の確認 (文章問題を自作して模範解答の作成・解説ができるようにしよう) ・例題の紹介 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>2つの数の和が15で、一方の数が他方の数の2倍より30大きいとき、この2つの数を求めなさい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「発表ノート」を使って、資料を全体に配付し、生徒が内容を確認する。 ・「発表ノート」を確認する際、生徒が異なる操作をすることがないように、画面共有機能を使いながら、全体で進行するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がスムーズにタブレットの操作ができるように、あらかじめタブレットを起動させて、作業に取り組みやすいようにする。 ・ノートも準備をさせタブレット操作が苦手な生徒には、手書きで作成をさせる。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・各自で文章問題・解答解説の作成 ・解答例の紹介 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>2つの数を x, y とすると、 $x+y=15$ $x=2y+30$ これを解くと、$(x, y)=(20, -5)$ この解は問題にあっている 2つの数は 20、-5</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで自作問題の共有 ○解けそうな問題から自力で解いてみる ・解答解説の共有 ○生徒同士で解説を行いながら、答え合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は教科書やワーク等を参考にしながら、「発表ノート」に問題を作成していく。 ・解答例は「発表ノート」画面を全体で共有する。 ・「発表ノート」のグループワーク機能を用いてグループ活動を実施する。 ・自分で作成したノートを追加で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題が成り立つかどうか不安な生徒のために、教師用タブレットで「発表ノート」の進行状況を確認していきながら、机間指導に繋げていく。 ・グループ分けを事前に行っておき、取り掛かる時間を確保しておく。
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめの記入 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分で問題を作成することで、どのようなことに気づきましたか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「気づきメモ」にわかったことや気づいたこと、感想等を記入させ、次時の振り返りで活用し、学習をつなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「気づきメモ」の内容は学級で共有しながら、早めに終わった生徒は参考になる内容に反応をするように指示を出す。

